



Max Weber Stiftung

.....

ドイツ日本研究所(DIJ)は東京に拠点を置くドイツの研究機関です(www.dijtokyo.org)。マックス・ウェーバー財団の研究所として、ドイツ連邦教育研究省から資金援助を受けています。

DIJ では一般事務 1 名を募集いたします。

主な業務内容

- イベントの企画・実行のサポート（イベント・マネジメント）
- 日本企業およびパートナーとの契約締結のサポート
- 日本の企業、協力パートナーとのコミュニケーション
- ビザ取得のサポート
- 日本語での電話対応、来客対応、文書作成を含む一般事務全般
- その他の組織業務および研究所チームのサポート全般
- 国際交流があり、学術にかかわるやりがいのある仕事内容。

必須条件

- 高等学校卒業以上
- 日本語を母国語とする
- 優れた英語とドイツ語の能力
- パソコン使用業務に必要な知識、IT 業務知識歓迎

できれば尚可

- （学術領域における）事務業務・秘書の経験又はイベントマネジメントの経験
- 積極的に業務に取り込む姿勢、チームワーク能力、サービス精神を備えていること
- 多文化の職場環境で働いた経験または意欲
- （事前の調整のもと）散発的に開催される夜間のイベントやレセプション等に対応できること。

条件・概要

- 2024年11月1日から勤務開始、当初2年間の有期雇用で、その後無期雇用になる可能性もあり。
- 週40時間労働のフルタイム勤務（土日休み・日独の祝日を調整しての年間休暇）。
- 勤務地は東京。
- 日本国籍者でない場合は有効な日本の滞在・労働許可を有すること。ビザ取得の手続きに関しては、雇用者としての守備範囲で協力する。税務上の理由により、現時点で日本国内に居住していること。
- マックス・ウェーバー財団は家庭との両立に協力的であり、健全なワークライフバランスを支援することに努めている。お問い合わせがある場合は gleichstellung@dijtokyo.org。
- 雇用条件は、在日ドイツ大使館の雇用規定に基づき、従業員のスキルや経験に応じて決定される。
- 法定目標に従い、同等の資格（適性、職務遂行能力）がある場合、重度障害者を優先的に採用する。

マックス・ウェーバー財団は、機会均等雇用者です。人種、肌の色、宗教、性別、性的指向、性同一性、国籍、障害に関係なく、すべての有資格者に対して公平に機会を提供します。

採用面接は2024年8月7日および8日に予定。面接はドイツ語で行います。

応募書類（履歴書、志望動機、資格等）は一つのファイルにまとめて、ドイツ語で2024年7月15日までに所長の Prof. Dr. Franz Waldenberger 宛に下記のメールアドレスに提出してください。 director@dijtokyo.org